

事業名	産業展示交流館アイメッセ山梨			
細事業名		財務コード		
担当部課室	産業労働 部	産業政策 課	企画・団体 担当 (内線)	4565

事業の概要

実施期間	始期 H26 年度 ~ 終期 H30 年度		
実施主体	(公財)やまなし産業支援機構		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	企業、団体、県民等	産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流の場を提供している。	県内産業の振興及び文化の向上
事業の内容 主にH28年度	<p>山梨県立産業展示交流館「アイメッセ」の適正な管理 事業内容:</p> <p>(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)その他知事が必要と認める業務</p> <p>利用者の利便性向上に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等主催者(利用者)に飲食や宿泊、会場設営、清掃等の手配を指定管理者が一括で行うワンストップサービスの提供 ・イベント開催における販売促進や相乗効果を図るため、同業種、異業種間での同時開催イベントをマッチング <p>利用率の向上に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興や文化の向上を図るためのイベント創出(自主企画事業:甲斐クラフトフェア) ・リピーター確保や新規利用者獲得のため、県内をはじめ、関東圏や関西圏等に個別訪問、電話、DM等による営業活動 		
根拠法令等	山梨県立産業展示交流館設置及び管理条例		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	27年度		28年度		29年度	30年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	開館日数	345日	345日	345日	345日	345日	目標設定の考え方 条例に基づく開館日のうち、展示場については使用面積で、大会議室については使用日数で利用率を積算した。 (休館日:12月29日~翌年1月3日) データの出典等 実績報告書
	施設利用率	43.3%	40.7%	44.2%	42.2%	42.2%	
	うち展示場	34.6%	37.0%	39.9%	38.0%	38.0%	
	うち大会議室	55.5%	46.0%	50.2%	48.0%	48.0%	
活動指標達成率 (実績値/目標値)			%				
成果指標	利用件数(展示場)	78件	86件	84件	88件	88件	目標設定の考え方 過去開催の展示会・イベント等の実績と指定管理者による営業活動を踏まえ設定した。 データの出典等 実績報告書
	来場者数	186,829	186,900	202,147	202,200	202,200	
	うち展示場	180,101	180,200	194,256	194,300	194,300	
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			
決算額又は予算額 (千円)	52,226		32,750	39,786	48,187	成果指標によらない成果	
うち一財額	34,287		14,818	21,355	30,291	利用者(イベント開催者)の満足度調査では、H27、28年度は、それぞれ98.6%、99.4%と高い評価を得ている。 また、大規模イベント開催時には、県外からの来場者による宿泊や飲食により、県内観光産業等への波及効果も生じている。	
所要時間(直接分)	時間		時間	時間	時間		
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間		
所要時間計	時間		時間	時間	時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,145円×所要時間)							

これまでの事業の見直し・改善状況

平成18年4月から指定管理者制度を導入し、民間活力を生かし、サービス向上や経費削減に努めながら、より効果的、効率的な施設の管理・運営を行ってきた。
また、平成26年度以降に、飲食、宿泊、設営等の各種業務の手配を指定管理者が一括で行うワンストップサービスを強化し、利用者の利便性向上を図っている。

活動量と成果の判断(平成28年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H28年度活動指標の達成率		施設全体の利用率は、指定管理者の経営努力により、平日を中心に展示場の施設利用率が増加したことにより、前年度から0.9ポイント増加し、特に主要施設である展示場において5.3ポイント増加した。この結果、全体の目標値に対して108.6%となっており、予定された活動量を上げている。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H28年度成果指標の達成率		展示場の利用件数は84件と、目標値86件を下回るも、1件当たりの利用日数が増加したことから、施設利用率は39.9%と目標値38%を上回った。 来場者数もH27年度実績18.7万人からH28年度には20.2万人に増加した。この要因の一つとして、指定管理者の自主事業である甲斐クラフトフェアでの来場者が、8,400人から1万人超に増えたことも大きい。施設の利用者への満足度アンケートでは、「満足・どちらかといえば満足」が2年連続で98%以上と高く、総合的に意図した成果を上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	当該施設は、甲府地域テクノポリス開発計画に基づき、県内初めての産業展示機能のほか、中小企業人材開発センターや産業技術センターと併せて交流機能を備えることで、県内経済の発展を図ることを目的に整備された。また、中小企業の振興を支援する機関も入居しており、県内中小企業・小規模企業の経営基盤強化、経営革新、創業促進などの総合的な支援拠点としての役割を果たしており、県内産業の振興を図る上でその重要性はさらに増している。 こうした中、展示場は、H23年度以降、指定管理者の営業努力により、利用件数は増加傾向にあるが、平成39年度のリニア中央新幹線の開業に伴い、隣接地に新駅が建設され、交通の利便性が大きく向上することから、県内外の企業等に、県内唯一の産業展示施設としての魅力のPRに努め、利用率の更なる向上を図る必要がある。	m

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	利用促進を図るため、県関係各課や市町村等に積極的に働きかける。また、リニア中央新幹線の開業の利点を最大限に活かせるよう、リニア駅周辺整備の検討状況を踏まえつつ、集客施設としての魅力向上や集客増の方策等を検討する。 施設修繕では、平成30年度に、公共施設総合管理計画に基づく個別施設計画を策定する予定であることから、この中で修繕計画を作成するとともに、必要な修繕は行い、施設の適正な維持管理に努める。 施設の利用向上方策としては、産業展示によるメリットや効果を、県内企業向けに分かりやすく伝えられるようHPの充実を図るとともに、提案型の営業の強化、訪問回数を増やすことなどにより、県内企業の利用促進を図る。また、PVやCM撮影の制作会社への営業を引き続き行うとともに、平日の利用が見込める官公庁・各種団体等に対し、経費の削減や集客増が図れる複数イベントの同時開催を提案するなど営業を強化する。 このほか、やまなし観光推進機構等と一層緊密に連携し、県外施設利用者向けに県内の飲食・宿泊、観光情報を提供するほか、アフターコンベンション(イベント後の県内観光等)を促進し、施設利用者の利用満足度を高めていく。 なお、施設の近隣には、まとまった駐車場がなく、比較対象施設がないことから、公租公課(甲府市の固定資産の課税標準額等)に基づき、賃借料の算出・見直しを行っている。H30年3月に契約満了を迎えることから、契約書にも記載されているとおり、公租公課の変動による契約額の変更を行う。	m

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	<p>利用促進を図るため、県関係各課や市町村等に積極的に働きかける。また、リニア中央新幹線の開業の利点を最大限に活かせるよう、リニア駅周辺整備の検討状況を踏まえつつ、集客施設としての魅力向上や集客増の方策等を検討する。</p> <p>施設修繕では、平成30年度に、公共施設総合管理計画に基づく個別施設計画を策定する予定であることから、この中で修繕計画を作成するとともに、必要な修繕は行い、施設の適正な維持管理に努める。</p> <p>施設の利用向上方策としては、産業展示によるメリットや効果を、県内企業向けに分かりやすく伝えられるようHPの充実を図るとともに、提案型の営業の強化、訪問回数を増やすことなどにより、県内企業の利用促進を図る。また、P VやCM撮影の制作会社への営業を引き続き行うとともに、平日の利用が見込める官公庁・各種団体等に対し、経費の削減や集客増が図れる複数イベントの同時開催を提案するなど営業を強化する。</p> <p>このほか、やまなし観光推進機構等と一層緊密に連携し、県外施設利用者向けに県内の飲食・宿泊、観光情報を提供するほか、アフターコンベンション(イベント後の県内観光等)を促進し、施設利用者の利用満足度を高めていく。</p> <p>なお、施設の近隣には、まとまった駐車場がなく、比較対象施設がないことから、公租公課(甲府市の固定資産の課税標準額等)に基づき、賃借料の算出・見直しを行っている。H30年3月に契約満了を迎えることから、契約書にも記載されているとおり、公租公課の変動による契約額の変更を行う。</p>

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
- ・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

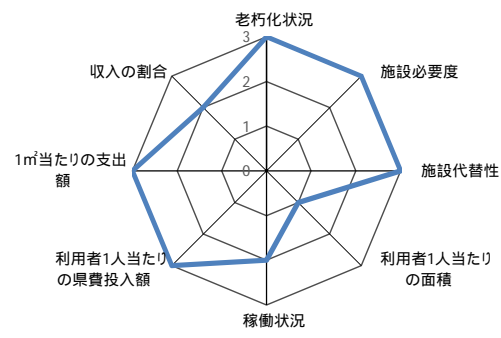
施設評価シート

基準日： H29.3.31

施設名	アイメッセ山梨	所管課室	産業政策課			
大分類	県民利用施設	中分類	3産業振興施設	小分類	産業振興施設	
					施設番号	19

<分析・評価>

指標	指標の解説	評価
老朽化状況	経過年数÷目標使用年数(80年) 複数棟は主建物で算定 1:62.5%以上 2:37.5%以上62.5%未満 3:37.5%未満	3
施設必要度	評価検討シート・必要性該当項目 1:3項目以下 2:4～5項目 3:6項目以上又は設置義務	3
施設代替性	代替性の有無(当該施設がないと事業が実施できないか) 1:有 3:無	3
利用者1人当たりの面積	総延床面積÷利用者数 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	1
稼働状況	利用コマ数÷利用可能コマ数 1:40%未満 2:40%以上60%未満 3:60%以上	2
利用者1人当たりの県費投入額	収支差額÷年間利用人員 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	3
1㎡当たりの支出額	総支出÷総延床面積 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	3
収入の割合	総収入÷総支出 1:30%未満 2:30%以上100%未満 3:100%以上	2



(注)各評価は相対評価であり、「1」であっても必ずしも悪いというわけではない。

項目	分析・評価(施設所管課)
施設の安全性の評価	施設の耐震性には問題はない。しかしながら、施設設置から20年以上経過し、雨漏りが発生している箇所があるとともに、空調等設備の老朽化が進んでおり、指定管理者及び県で修繕を実施している。
施設の必要性、事業の必要性等の評価	アイメッセ山梨は、商品展示会やセミナー、文化イベントの開催等による情報、技術、文化等の交流を通じて、中小企業の振興、特に、県内産業の振興と文化の向上を図る上で、不可欠な施設であり、県としては、施設の維持・保全に努める必要がある。
施設の有効性の評価	県内唯一の産業展示施設であり、県内企業の商談・展示会需要に応えることにより、県内産業の振興を果たすとともに、各種イベントの開催等により、県民の文化向上にも寄与している。 また、中小企業の振興を支援する機関の入居により、県内産業の振興を図る機能も有しており、施設全体として有効活用がなされている。
上記項目の分析・評価を踏まえた課題事項など特記事項	

<評価結果>

項目	評価														
施設評価(所管部局等) 今後の方向性 分析・評価結果を踏まえた総合的な評価、課題事項に対する対応策など	<評価分類> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>低</td> <td>中</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">必要性・利用状況(ソフト)</td> <td></td> <td></td> <td>高</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </table> 施設の性能(ハード) (注)分類は相対的なものであり、「低」であっても必ずしも施設が不要というわけではない。		低	中	高	必要性・利用状況(ソフト)			高			中			低
	低	中	高												
必要性・利用状況(ソフト)			高												
			中												
			低												
今後の施設方針(総務部等)															

施設評価シート(検討シート)

基準日: H29.3.31

施設名	アイメッセ山梨			所管課	産業政策課		
大分類	県民利用施設	中分類	3産業振興施設	小分類	産業振興施設	施設番号	19

< 評価項目関係指標 >

築年数	築22年	次期更新予定年度	2075年	指定管理導入		指定管理料	-
延床面積	10,169㎡	うち執務室面積	27㎡	うち会議室面積	-	うち貸室面積	5,072㎡
年間利用者数	202,147人	施設稼働率	44.2%	類似施設の有無	-	近隣施設の有無	
職員数	10人	うち指定管理職員数	10人	年間経費	32,750千円	年間収入	17,939千円
残使用年数	58年	更新費用概算	3,249百万円	更新までの保全費用	-	保全費用概算(50年間)	4,261百万円
利用者1人当たり県費	162.0円	1㎡当たり利用者数	19.9人	職員1人当たり執務室面積	2.7㎡	職員1人当たり会議室面積	-
未利用施設の有無	-	1㎡当たり支出額	3,220.7円	収入割合	54.8%		

< 過去の検討状況等 >

項目	内容
過去10年間に於ける部局内でのあり方検討、行政評価アドバイザーによる外部評価の概要、また、文化財指定など特別な事情等の概要	
他都道府県における同種・類似施設の設置状況	別紙

< 評価検討項目 >

書ききれない場合は、行の高さを適宜調整すること(行の挿入はしない)

評価項目	該当の有無	評価内容
安全性	施設の老朽化度は問題ないレベルか(築年数及び施設の状態)	管理棟、展示棟ともに21年が経過。施設利用にあたっては特段の問題はない。しかし、施設整備から20年以上経過し、空調機器等の設備の不具合や雨漏りが発生している箇所がある。
	施設は耐震性を有しているか	平成7年7月に整備された施設であり、建築基準法上耐震性を有している。
	施設の点検は適切に実施されているか	建物点検:(株)三宅建築設計事務所 設備点検:(株)オーテック(空調用自動制御機器)外 点検記録保管場所:アイメッセ山梨
	施設の修繕・改修等は適切に実施されているか	点検結果等を踏まえて、適切な修繕が実施されている。(指定管理者) 空調用自動制御機器については、H25、26、28年に修繕を実施している。(県)
	その他特記事項	-
必要性	法律上、設置義務がある施設か(根拠法令、内容)	×
	法律上、実施義務がある事業か(根拠法令、内容)	×
	設置目的に即した事業が実施されているか	展示会・フェアやイベント等、産業の振興と文化の向上に資する施設利用が年間84件あった。 また、指定管理者は県内企業等の潜在的なニーズを掘り起こすため、自主事業として「甲斐クラフトフェア」を実施している。 当該フェアは、県内外の木工や染め織物等のクラフト作家による展示販売会であり、施設設置目的の文化の向上にも即している。 (H28年度:出展者151名、来場者10,025人)
	当該施設でなだけでできない事業か	施設を貸出すことによって、県内産業の振興や文化の向上に即した展示会・フェア等を行っているが、5,000人規模の収容可能な産業展示施設は当該施設以外に県内にはない。
	県が関与しなければならない事業か	県内産業の振興と文化の向上を目的とした施設であり、特に県内中小企業の振興を図るため、新製品の宣伝、販路開拓等の取り組みは、県として総合的に推進していくことが求められていることから、当該機能を有する施設の運営には、県は積極的に関与する必要がある。 また、県では「山梨県立産業展示交流館設置及び管理条例」のほか、H28年3月には「中小企業・小規模企業振興条例」及び「中小企業・小規模事業振興計画」を定め、中小企業・小規模企業の振興に係る県の責務等を明らかにし、中小企業の振興に関する施策を積極的かつ計画的に関与することとしている。

施設評価シート(検討シート)

基準日: H29.3.31

施設名	アイメッセ山梨			所管課	産業政策課		
大分類	県民利用施設	中分類	3産業振興施設	小分類	産業振興施設	施設番号	19

	県内に同類の機能の施設がないか		県内に、当該施設と同規模の類似施設はない。 参考(収容人数) セレス甲府(約600人) 甲府市総合市民会館(約2,000人)
	設置目的は達成していないか		これまでの取り組みによって、一定の成果があるが、さらに県内産業の振興と文化の向上を目指して利用促進を図る必要がある。
	今後の人口動向、社会構造及び社会情勢の変化に伴う利用者需要に変化はないか		中部横断自動車道の全線開通や中央自動車道スマートICの建設、リニア中央新幹線山梨県駅の建設を控えているリニア環境未来都市内に位置する当該施設は、今後、交通の利便性が向上することにより、施設の需要が高まることが予想される。
	新たなニーズが発生しているか(新たなニーズと対応状況)	×	
	廃止・統合等の場合、補助金返還が発生するか	×	
	施設がない場合、どのような対応が可能か(どのように事業を実施するか)	-	当該施設がなかった時代は、総合体育館や市民ホール等の施設を利用したり、展示会の規模により、複数の既存施設での分散開催や、東京都周辺地域の大規模施設を利用するなど、県内企業等は不便を強いられていたことから、施設を廃止等した場合の代替手段はなく、県内産業界に大きな影響が及ぶ。
	その他特記事項	-	
有効性	施設の規模は適正か(過大または過小でないか)		利用していない貸室はない。展示場については、3分割でき、全面、2/3面、1/3面と利用人数によって対応できる。 なお、展示場の規模については、当該施設整備の構想時に、県内企業等に対する需要動向や他県の展示場の規模・利用状況等を調査し、決定されている。
	貸施設の稼働状況(稼働率60%以上:、40%以上60%未満:、40%未満:×)		展示ホール:39.9% 会議室:50.2%
	利用が少ない施設・部屋、時間帯、曜日、時期はないか		展示施設については、特性上、施設利用希望は土日に集中する。平日については、利用促進するよう指定管理者が営業活動を行っているが、施設利用の申し込み状況によって年間を通じてバラつきがある。
	事業効果の把握が適切に行われているか		指定管理者が、事業の実施後に、山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨の管理に関する基本協定書に基づき利用者(イベント主催者)全てに対しアンケートにより利用満足度等を調査しており(H28:84件)、適切に事業効果を把握している。
	事業の効果が出ているか		県内唯一の産業展示施設であり、県内企業の商談・展示会需要に応えることにより、県内産業の振興を果たすとともに、各種イベントの開催等により県民の文化向上にも寄与している(利用件数84件)。 また、やまなし産業支援機構とジェットロ山梨貿易情報センターが入居することにより、県内中小企業支援の拠点としての役割を果たしている。
	特定の団体が占有していないか	×	行政財産目的外使用許可申請に基づき、次の団体の利用を許可している。 ・(公財)やまなし産業支援機構:3階 事務室 (県の指導・監査を受け、県の事務又は事業の遂行上必要な公益を目的とする事業を行う団体において、その公益事業の用に供するために使用する場合) ・(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)山梨貿易情報センター:4階 事務室 (国、他の地方公共団体その他公共団体が公用又は公共用として使用する場合) なお、当該施設にあっては、中小企業の振興を支援する機関を入居させ、産業振興や中小企業対策の中心的な役割を担う施設として整備することを産業界等から要請され、整備方針が決定されている。
	広く県民に利用されているか、利用者の属性		利用者84件(県内:60件、県外24件) イベント種別:県・商工団体等の催し物、自動車、ジュエリー、ものづくり関連の展示会・フェア、コンサート等の有料イベント、進学説明会等の教育関係のセミナー等、県内飲食業界のイベント等
未利用施設・部屋はないか			

施設評価シート(検討シート)

基準日: H29.3.31

施設名	アイメッセ山梨			所管課	産業政策課		
大分類	県民利用施設	中分類	3産業振興施設	小分類	産業振興施設	施設番号	19

他施設(機能)の統合(複合化・集約化)は困難か		産業展示を通じ、県内産業の振興及び文化の向上を図るための県内唯一の施設のため、他の施設への複合化も、他の施設の複合化も困難。
年間の運営コストは適正か(改善点はないか)		県から指定管理者に対し指定管理料の支払いはなく、指定管理者から納付金を納めてもらっている。 指定管理者は、利用率向上を図るため、地道な営業努力と経費削減を図っており、健全な経営に努めている。
その他特記事項	-	

該当の有無: 該当: ○、概ね該当: △、非該当: ×

施設カルテ

1 施設概要

基準日: H29.3.31

施設名	アイメッセ山梨			所管課	産業政策課		
大分類	県民利用施設	中分類	3産業振興施設	小分類	産業振興施設	施設番号	19
設置年月日	平成7年7月7日	建築年月日	平成7年3月25日	(築22年)	改築年月日	-	
所在地	甲府市大津町2192 - 8						
設置根拠法律	-			設置根拠条例等	山梨県産業展示交流館設置及び管理条例		
敷地面積	25,760.60㎡	借地面積	-	借地元	-	借地契約満了日	-
財産区分	行政財産	施設形態	単独	耐用年数 (目標使用年数)	80年	次期更新予定年度	2075年
建物規模	鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造地上4階建てほか			駐車場台数	1,150台	建築面積	7,868.28㎡
延床面積	10,168.58㎡	うち執務室面積	27.00㎡	うち会議室面積	-	うち貸室面積	5,072.00㎡
建設費	7,054百万円	地方債残高	-	償還(年/年)	-	改修・修繕履歴の有無	有
設置目的	産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流を促進し、もって本県における県内産業の振興及び文化の向上を図る						
主な施設内容 (定員、部屋数等)	【1階】屋内展示場(ホールA、B、C)、屋外展示場 【4階】会議室(1室)						
主な業務内容・ 実施事業	1 利用の承認に関する業務 2 施設及び設備器具の維持保全に関する業務						
管理運営形態	指定管理	指定管理者	(公財)やまなし産業支援機構			利用料金制の有無	有
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内展示場: 25,920 ~ 77,760円、屋外展示場: 4,750円(利用時間1時間あたり) ・会議室: 2,100円(利用時間1時間あたり) ・展示場の設備 冷房: 7,560 ~ 22,680円、暖房: 6,480 ~ 19,440円、床暖房: 540 ~ 1,620円(利用時間1時間あたり) 電源装置: 40円(利用電力量1kw時あたり)、水道: 320円(利用水量1㎡あたり)、音響: 5,400 ~ 10,800円(利用日1日あたり) ・設備器具: 60 ~ 32,400円(1日あたり) 						
開館日数	345日	利用時間	7:00 ~ 22:00		休業日	12月29日 ~ 1月3日、 設備点検日等	
主な利用者	イベント等主催者						
年間利用者数	202,147人	施設稼働率	44.2%	職員数	10人	うち指定管理職員数	10人
年間経費	32,750千円	うち指定管理料	0千円	年間収入	17,932千円	未利用施設の有無	無
残使用年数	58年	更新費用概算	3,249百万円	更新までの 保全費用	-	保全費用概算 (50年間)	4,261百万円
目的外使用・貸 付等	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室:(公財)やまなし産業支援機構、H28.4.1 ~ H29.3.31 ・支線2条:NTT(株)東京事業部、H25.4.1 ~ H30.3.31 ・光アクセスシステム:NTT(株)東京事業部、H24.4.1 ~ H29.3.31 ・キャッシュコーナー:(株)山梨中央銀行、H28.4.1 ~ H29.3.31 ・事務室:(独)ジェトロ山梨、H28.4.1 ~ H29.3.31 ・厨房:(公財)やまなし産業支援機構、H26.4.1 ~ H29.3.31 ・公衆電話ボックス:NTT(株)東京事業部、H28.4.1 ~ H31.3.31 ・本柱、支線柱、支線:東電パワーグリッド(株)、H25.4.1 ~ H30.3.31 ・郵便用ポスト:日本郵便(株)甲府中央郵便局、H27.4.1 ~ H32.3.31 						
類似施設	なし 参考(収容人数) ・セレス甲府(約600人) ・甲府市総合市民会館(2,000人)			近隣施設	工業技術センター		

:BIMMSによる概算

施設名	アイメッセ山梨
-----	---------

4 建物部位・設備情報(長寿命化対象建築物)

建物名称	区分	種別	内容	有無	仕様等	未使用状況	点検実施の有無	修繕等履歴の有無	修繕等の内容	修繕等年度	予算額(千円)	
建築	屋根	屋根防水+押さえコン	アスファルト防水					無				
		シート系防水		×								
		屋根長尺金属板	金属板葺き	×								
		その他	スレート・かわら他	×								
	外壁	壁-タイル		特性セツ器質レンガ(部分的)					無			
		外壁仕上塗材	複層仕上塗材、塗装壁他	×								
		外部天井		×								
	建具	シーリング		防水材入り目地モルタル					無			
		外部建具	外部アルミ建具、外部鋼製建具			-			無			
		内部建具	内部鋼製建具、木製建具			-			無			
内部	自動扉	ステンレス製自動両開扉						有	センサー修理、ベルト・歯車等交換	毎年	357	
	ステンレス製建具	ステンレス製建具、鋼製シャッター			-			無				
内部	内部仕上等	床仕上げ、壁仕上げ、天井仕上げ、内部雑物			-			無				
電気設備	受変電	高圧	高圧受変電	×	展示館と共通							
		非常用発電	自家発電装置、ディーゼル機関等	×								
		交流無停電電源	無停電電源装置	×								
		太陽光発電				屋上斜め置きGSユアサ製 最大出力20Kw			無			
	電力	電力	配管配線等			-						
		電線類	配線			-						
		制御盤、分電盤、OA盤				-			有	照明制御盤更新等	H19、H26 H28	3,979 7,344
		蛍光灯他	FL電球、Hf電球、LED			-						
			非常灯 誘導灯			- -						
	中央監視	中央監視	中央監視装置						有		H27	25,920
通信・情報	LAN、電話、表示、映像、防犯等	電話交換機			NEC製 APEX3000 1995年				無			
		情報・出退表示装置	×									
		放送(アンプ)				HYFAX PR-2023FET			無			
		時計設備				シチズン製			有	時計制御装置、針交換	H27	429
	配管配線等				-			無				
通信・情報(防災)	自動火災報知				能美防災機			無				
機械設備	空調設備	温熱源	ボイラー	×								
		冷熱源	吸収式冷温水機、冷凍機、冷却塔			三洋電機機1994年 <大型機>2基 冷凍能力:846,720kcal/h 暖房能力:708,400kcal/h <小型機> 冷凍能力:181,440kcal/h 暖房能力:158,520kcal/h			無			
		空気調和機	パッケージ型、ユニット型、FCU			日立冷熱機1995年 冷却能力:132,000kcal 加熱能力:68,900kcal			有	漏水修繕	H25	900
		空気調和機(出力22kW以下)	ヒートポンプマルチパッケージ型空調機	×								
		空気調和機(出力22kW超)	ヒートポンプマルチパッケージ型空調機 全室空	×								
		全熱交換器、空気清浄装置		×								
	換気設備	換気設備	送風機・ダクト			-						
	自動制御設備	自動制御				アズビル機2016年			有	中央監視装置改修	H27	27,778
	給排水設備	給排水	ポンプ、タンク、排水等									
	衛生設備	衛生器具他				toto						
消火設備	消火設備一式	屋内消火栓、スプリンクラー 屋外消火栓等						有	消火ホース、排煙窓修理	H27	602	
昇降機その他	エレベーター				日立ビルシステム			無				
その他	舞台装置	体育館			-							

管理棟

施設名	アイメッセ山梨
-----	---------

4 建物部位・設備情報(長寿命化対象建築物)

建物名称	区分	種別	内容	有無	仕様等	未使用状況	点検実施の有無	修繕等履歴の有無	修繕等の内容	修繕等年度	予算額(千円)			
展示棟	建築	屋根	屋根防水+押さえコン	アスファルト防水	×									
			シート系防水		×									
			屋根長尺金属板	金属板葺き			ダブルバック折板葺き			無				
			その他	スレート・かわら他	×									
		外壁	壁 - タイル				特性セッ器質レンガ			無				
			外壁仕上塗材	複層仕上塗材、塗装壁他	×									
			外部天井		×									
		建具	シーリング											
			外部建具	外部アルミ窓建具、外部鋼製建具			-			無				
			内部建具	内部鋼製建具、木製建具			-			有	スライディングウォール(移動間仕切)	H23、H27	2,566	
	自動扉		ステンレス製自動両開扉						有	センサー修理、ベルト・歯車等交換	毎年	357		
	内部	ステンレス製建具	ステンレス製建具、鋼製シャッター			-			無					
		内部仕上等	床仕上げ、壁仕上げ、天井仕上げ、内部雑物			-			無					
	電気設備	受変電	高圧	高圧受変電		変圧器台数:8台:[75KVA(1台)、150KVA(1台)、200KVA(5台)300KVA(1台)]			無					
			発電・静止系電源	非常用発電	自家発電装置、ディーゼル機関等		機明電舎ZMA225PBS(200kVA)			有	非常用蓄電装置改修	H26	4,050	
				交流無停電電源	無停電電源装置	×								
		太陽光発電			×									
		電力	電力	配管配線等			-							
			電線類	配線			-							
			制御盤、分電盤、OA盤				-							
			蛍光灯他	FL電球、Hf電球、LED				-						
				非常灯				-						
		誘導灯				-								
		中央監視	中央監視	中央監視装置		管理棟と共通								
		通信・情報	LAN、電話、表示、映像、防犯等	電話交換機		×								
				情報・出退表示装置		×								
				放送(アンプ)				HYFAX PR-4023FET			有	アンプ交換	H22、H24、H25	2,135
				時計設備			×							
				配管配線等				-			有			
		通信・情報(防災)	自動火災報知				能美防災機			有	落雷による故障修繕ほか	H22、H24	2,703	
	機械設備	空調設備	温熱源	ボイラー	×									
			冷熱源	吸収式冷温水機、冷凍機、冷却塔										
			空気調和機	パッケージ型、ユニット型、FCU			日立冷熱機1995年 冷却能力:132,000kcal 加熱能力:68,900kcal			有	センサー交換等	H25、H26	3,233	
空気調和機(出力22kW以下)			ヒートポンプマルチパッケージ型空調機	×										
空気調和機(出力22kW超)			ヒートポンプマルチパッケージ型空調機 全室空	×										
全熱交換器、空気清浄装置				×										
換気設備		ポンプ、タンク、ダクト、配管												
		換気設備	送風機・ダクト			-								
		自動制御設備	自動制御		×									
		給排水設備	給排水	ポンプ、タンク、排水等										
衛生設備	衛生器具他			toto										
消火設備	消火設備一式	屋内消火栓、スプリンクラー 屋外消火栓等						有	煙感知器交換等	H26、H27	1,282			
昇降機その他	エレベーター		×											
その他	舞台装置	体育館	×		-									

施設名	アイメッセ山梨
-----	---------

5 運営状況(施設利用者数)

区分	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
来館者数	226,064	198,726	186,829	202,147	
うち展示場	213,236	190,088	180,101	194,256	
合計	226,064	198,726	186,829	202,147	0
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載) モニタリングシートは利用件数を掲載。 利用件数 展示ホール H25:86件、H26:89件、H27:78件、H28:84件				

6 利用状況(施設稼働率)

施設稼働率	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
全体	51.7%	53.0%	43.3%	44.2%	
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載) 展示場利用率 平成25年度 34.6% 平成26年度 43.7% 平成27年度 34.6% 平成28年度 39.9%				

7 利用者満足度(施設全般の満足度)

利用者満足度	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
「満足」「どちらかといえば満足」の割合	99.5%	99.3%	98.6%	99.4%	
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

施設名	アイメッセ山梨
-----	---------

8 収支状況(全体)

区分	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入の合計	17,209,287	17,938,969	17,938,969	17,931,162	0
支出の合計	25,768,446	25,015,510	52,225,776	32,749,056	0
収支差額(-)	8,559,159	7,076,541	34,286,807	14,817,894	0
年間利用人員 (人)	226,064	198,726	186,829	202,147	0
利用者一人当たりの県費投入額((-) ÷ 2)	38	36	184	73	#DIV/0!
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

9 収支状況(指定管理者)

区分		実績				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入	施設利用料	108,415,659	136,537,350	117,180,100	130,519,559	
	指定管理委託料					
	その他	8,602,638	17,531,778	14,536,346	15,994,355	
	収入合計(A)	117,018,297	154,069,128	131,716,446	146,513,914	0
支出	人件費	27,835,890	26,163,582	30,279,524	29,801,405	
	県への納付金	12,174,400	12,294,400	12,294,400	12,294,400	
	管理運営費	55,234,517	105,659,887	86,316,724	85,884,766	
	うち外部委託費(B)	24,412,850	25,322,040	23,205,700	23,682,287	
	支出合計(C)	95,244,807	144,117,869	128,890,648	127,980,571	0
収支差額(A-C)		2,639,360	9,951,259	2,825,798	18,533,343	0
外部委託比率(B ÷ C)		20.4%	17.6%	18.0%	18.5%	
特記事項		(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

< 關係資料 >

1 管理運営経費

(1) 収入

項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
行政財産使用料	5,035,287	5,644,969	5,644,969	5,637,162	
雑入	12,174,000	12,294,000	12,294,000	12,294,000	
合計	17,209,287	17,938,969	17,938,969	17,931,162	0

(2) 支出

項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
報酬					
給料					
職員手当等					
共済費					
賃金					
報償費					
旅費					
需用費	2,999,850	2,709,838	2,660,796	2,795,256	
役務費					
委託料			1,857,600		
使賃料	22,305,672	22,305,672	21,787,380	21,787,380	
工事請負費			25,920,000	7,344,000	
備品購入費	462,924	0	0	822,420	
補助金等					
扶助費					
公課費					
合計	25,768,446	25,015,510	52,225,776	32,749,056	0

2 利用状況

(1) 利用状況 (施設稼働率)

算出方法	展示ホール 全面利用の場合を1日とし、2/3利用は0.66日、1/3利用は0.33日に換算し、合計年間利用日数/年間営業日数で算定。 大会議室 合計利用日数/年間営業日数で算定。					
	部屋名称	利用可能日数	利用日数	午前	午後	夜間
展示ホール	345日	137.6日				39.9%
大会議室	245日	123日				50.2%
全体	590日	260.6日				44.2%

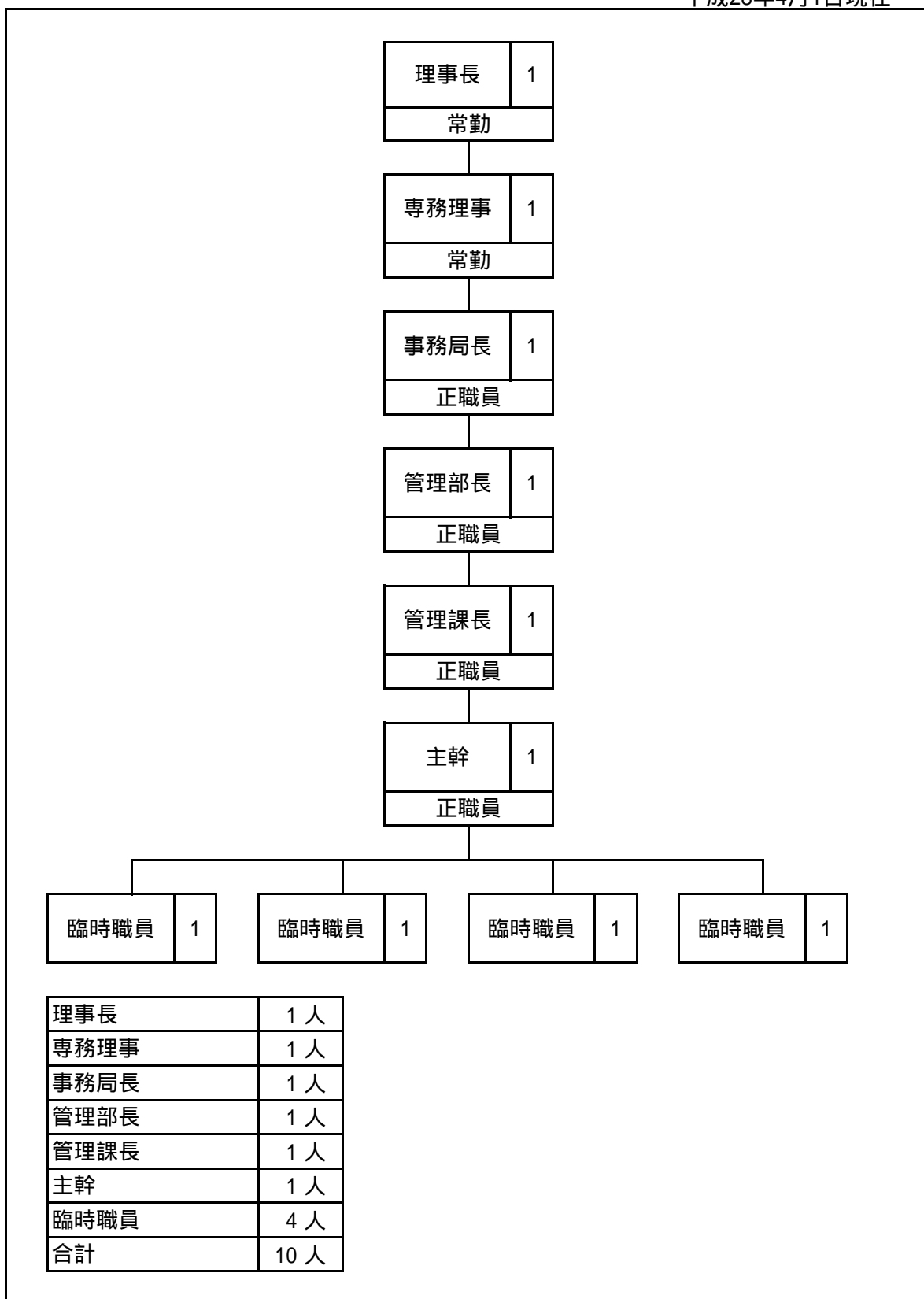
(2) 利用者満足度

実施時期・実施方法	実施時期:平成28年4月～平成29年3月 実施方法:利用者(イベント主催者)へのアンケート 回答数:84社(回収率:100%)					
項目	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満		
所蔵資料の充実度	89.3%	7.1%	3.6%	0.0%		
利用目的を達成できたか	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%		
レファレンスサービスの満足度	94.6%	6.0%	0.0%	0.0%		
また利用(来訪)したいか	73.8%	26.2%	0.0%	0.0%		
施設全般の満足度	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%		
各項目の平均	89.6%	9.8%	0.7%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
結果分析	施設全般の利用満足度は90%以上と非常に高い。 しかし、再度利用希望が70%超と他項目と比べ低いため、その理由を調査・分析し、リピーター確保に向けた取り組みが必要である。					

3 組織図等(指定管理者)

組織図、職別、正規・非常勤別・合計人数が分かるように記載

平成28年4月1日現在



4 施設の利用状況

利用人数のほか、施設の利用状況、活用状況等が分かる事項を記載

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
来館者数		198,726人	186,829人	202,147人
展示ホール		190,088人	180,101人	194,256人
大会議室		8,638人	6,728人	7,891人
展示ホール利用率		43.7%	34.6%	39.9%
大会議室稼働率		66.1%	55.5%	50.2%
展示ホール利用件数		89件	78件	84件
全面		20件	16件	25件
2 / 3面		19件	14件	11件
1 / 3面		50件	44件	47件
屋外単独		0件	4件	1件
大会議室利用件数		162件	136件	123件
展示ホール利用日数		245日	195日	218日
全面		72日	51日	74日
2 / 3面		63日	61日	47日
1 / 3面		110日	83日	97日
イベント種別利用状況 ()内割合		89件(100%)	78件(100%)	84件(100%)
県・商工団体等の催し		7件(7.9%)	8件(10.3%)	7件(8.3%)
民間 企業 等 催 物	展示会・フェア	38件(42.7%)	37件(47.4%)	21件(25.0%)
	有料イベント	8件(9.0%)	12件(15.4%)	8件(9.5%)
	その他	36件(40.4%)	21件(26.9%)	48件(57.2%)
	小計	82件(92.1%)	70件(89.7%)	77件(91.7%)

施設設立の経緯と現状等について

1. 建設の経緯・構想

(1) 経緯

甲府地域テクノポリス開発計画(562)に基づくサイエンスパークの中核施設に位置付けられる。

平成元年 県と甲府市で「展示交流施設」の整備に関する協議を開始
産業界からも、「展示交流施設」の整備について強い要望

平成4年4月 「展示交流施設建設基本構想」を策定

平成7年7月 山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨 開館

・開館 平成7年7月7日

・オープニングイベント 平成7年7月7日～8月13日(山梨発見展、大地球展)

・一般利用開始 平成7年8月16日(大相撲甲府場所でスタート)

・入居団体(管理棟) (財)山梨県中小企業振興公社、(財)山梨21世紀産業開発機構、
(財)山梨県産業展示交流館

展示場等の管理運営は、県、市、商工団体等出資の(財)山梨県産業展示交流館に委託

・平成12年8月以降は、(財)山梨県中小企業振興公社、(財)山梨21世紀産業開発機構、(財)山梨県産業展示交流館の3財団の統合により、新たに設立された(財)やまなし産業支援機構(現(公財)やまなし産業支援機構)に管理運営を委託

平成18年4月 展示場・会議室の管理運営に指定管理者制度及び利用料金制を導入

平成25年4月 ジェトロ山梨貿易情報センターが管理棟に入居

(2) 構想

「甲府地域テクノポリス開発計画」

- ・ハイテク産業を軸に産学官が一体となって新しい産業都市の育成を図ることを目的として、昭和59年に「高度技術工業集積地域開発促進法(テクノポリス法)」が制定され、全国で26地域が指定。当該指定に基づき、山梨県立中小企業人材開発センター、山梨県工業技術センター(現山梨県産業技術センター(甲府技術支援センター))、展示交流施設の3施設からなるサイエンスパークの建設等を柱とする当該計画が昭和63年2月に国から承認される。

「展示交流施設建設検討結果」報告(平成4年2月)

県議会、商工団体、産業界代表者及び学識経験者からなる展示交流施設建設検討委員会は、展示交流施設建設に係る基本的な考え方を取りまとめ、次のとおり知事に報告。

- ・展示交流施設を「甲府テクノポリス開発計画」に基づき、甲府南部工業団地を有力候補地として出来るだけ早期に建設すること。
- ・近隣の中小企業人材開発センター、工業技術センターと併せて交流機能を備えた施設を整備すること。
- ・施設機能として、展示機能、会議機能、情報機能、交流機能、事務機能の充実を図ること。また、これらの機能を効果的に生かすため、情報の受発信機能を備えることが必要であることから、中小企業の振興を支援する機関を入居させ、産業振興や中小企業対策の中心的な役割を担う施設

として整備すること。

- ・施設の整備・運営方式は公設民営が適当と考える。

「展示交流施設建設基本構想」策定(平成4年4月)

上記報告を受け、県では平成4年4月に「展示交流施設建設基本構想」を策定。

- ・建設地は、甲府市が「甲府南部工業団地」内の土地を提示し、県が買収
- ・建設資金として、県は60億円[県単費、公共施設整備等事業基金繰入金、県債(地域総合整備事業債)、宝くじ協会 寄附金]、市は10億円の負担

2. 設立の目的と役割等

(1) 目的

産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流を促進し、もって本県における県内産業の振興及び文化の向上を図る。

(2) 主な役割

- ・地場産業の新製品の宣伝、販路開拓、新顧客発掘や商品・技術のPRなど企業のイメージアップ
- ・研修、商品説明会などの提供
- ・地場産業の新製品・技術製品の情報、売れ筋商品情報、経営情報、企業情報やイベント情報等を収集、提供
- ・参加企業、来場者、地場産業の交流活動の拠点

(3) 地域経済や地域産業への波及効果

- ・既存産業の拡大
- ・既存産業の高度化
- ・新たな産業の創造
- ・地域経済の活性化

3. 現状と課題

(1) 現状

展示場・大会議室

指定管理者制度及び利用料金制の導入

- ・民間活力を生かしながら、サービス向上や経費節減など、より効果的、効率的な施設の管理・運営を図るため、平成18年4月に展示場・会議室の管理運営について、指定管理者制度及び利用料金制を導入
- ・指定管理者制度導入前は、運営費補助金を運営委託先に交付してきたが、導入後は、逆に県に納入金が納付されている(5年間:6,100万円 県から指定管理者への指定管理料の支払いなし)。導入前のH17年度とH28年度の県の収支で比較すると、2,500万円改善が図られている。また、指定管理業務に係る収支状況も、導入前は赤字基調であったが、導入後は指定管理者の経営努力により、一定の黒字化がなされており、指定管理者制度導入の成果が出ている。
- ・指定管理者 : (公財)やまなし産業支援機構

- ・指定管理期間 :平成26年4月～平成31年3月(5年間)
- 利用状況等
(展示場)
- ・平成28年度利用実績
催し物件数(利用件数):84件(平成27年度と比べ6件の増加)
利用率:39.9%(平成27年度と比べ5.3ポイントの増加)
- ・自主事業の実施
甲斐クラフトフェア:来場者数10,025人
(大会議室)
- ・平成28年度利用実績
利用件数:123件(平成27年度と比べ13件の減少)
利用率:50.2%(平成27年度と比べ5.3ポイントの減少)
- (全体)
- ・利用率44.2%(平成27年度と比べ0.9ポイントの増加)

管理棟

入居団体(行政財産使用許可)

- ・(公財)やまなし産業支援機構
- ・(独)日本貿易振興センター(ジェトロ)山梨貿易情報センター

(2)課題

- ・展示場は、H23年度以降、指定管理者の営業努力により、利用件数は増加傾向にあるものの、これからのリニア中央新幹線の開業に伴い、隣接地に新駅が建設され、交通の利便性が向上することから、県内外の企業等に対し、県内唯一の産業展示施設としての魅力をPRし、利用率の更なる向上を図る必要がある。
- ・また、施設設置から20年以上経過し、設備等に故障や不具合が発生している。特に、空調設備の老朽化が著しいことから、適切な修繕が必要となっている。

4.類似施設の状況

県内に、当該施設と同規模の類似施設はない。

参考(収容人数)

セレス甲府 本館1階 吉兆の間:約600人

甲府市総合市民会館 ホール:2,000人

5.将来的なビジョン

リニア中央新幹線の開業に伴い誕生する「リニア環境未来都市」のエリアに位置する当該施設は、国内外の多くの人々が交流する場所となることが期待される。

このため、アイメッセ山梨を本県産業の振興と文化の向上に貢献できる拠点とするべく、知名度の向上を図り、適切に施設を管理運営していく。

主な事業の実施状況等一覧

事業	実施状況	利用人数	成果
(1) 利用の承認 に関する業 務	利用規程に基づき、 適切に実施 承認件数 展示場：84件 大会議室：123件	来場者数 展示場： 194,256人 会議室： 7,891人	利用件数の増加、 施設利用料の増収 につながった
(2) 施設及び設 備器具の維 持保全に関 する業務	法定点検等の点検 や修繕等を適正に実 施	実施者 指定管理者 外部委託業者	施設利用者の利用 満足度の向上につ ながった
(3) その他知事 が必要と認め る業務	「甲斐クラフトフェア ー」(指定管理者自 主事業) 実施日：平成28年1 2月10日、11日 場所：B、Cホール	来場者数 10,025人	「ものづくり」の原 点を鑑賞する場を 設け、クラフト作家 との交流を通じ、 地域文化の向上が 図られた

アイメッセ山梨 利用状況

利用状況推移(過去10年)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平均
展示場 利用件数	86件	74件	74件	67件	73件	81件	86件	89件	78件	84件	79件
来館者数	219,874人	290,709人	255,635人	228,760人	226,948人	254,993人	226,064人	198,726人	186,829人	202,147人	229,069人
展示場 利用率	38.0%	30.8%	30.2%	29.4%	30.9%	34.4%	34.6%	43.7%	34.6%	39.9%	34.7%
会議室 稼働率	62.7%	68.1%	58.1%	43.4%	43.0%	45.7%	60.0%	66.1%	55.5%	50.2%	55.3%

平成28年度 イベント等種類別利用状況

区分	県、商工指導 団体等の催し 物	民間企業等の催し物				合計
		展示会・フェア	有料イベント	その他	小計	
件数	7件	21件	8件	48件	77件	84件
構成比	8.3%	25.0%	9.5%	57.2%	91.7%	100%
主な催し物	・甲斐クラフトフェア ・動物愛護デー	・ジュエリーフェア ・新車展示会 ・テック/ICTメッセ	・コンサート ・プロレス興行 ・フリーマーケット	・進学説明会 ・学会 ・撮影		

平成28年度 四半期別来館者数

	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	合計
展示場	46,709	56,726	62,715	28,106	194,256
会議室	1,453	2,636	2,287	1,515	7,891
計	48,162	59,362	65,002	29,621	202,147

平成28年度 展示場利用率

	開館 日数	開催 日数	利用件数					利用日数					利用日数 合計	換算利用 日数合計 = (+)	換算 利用率 /	前年 利用率 %
			全面	2 / 3	1 / 3	屋外 単独	合計	2 / 3		1 / 3						
								全面 利用 日数	利用 日数	換算 日数	利用 日数	換算 日数				
4月	30	5	1	0	0	0	1	5	0	0.0	0	0	5	5	16.7%	47.7%
5月	31	14	1	1	5	1	8	3	3	2.0	9	3	15	8	25.8%	26.8%
6月	30	19	2	0	7	0	9	7	2	1.3	14	4.7	23	13	43.3%	29%
7月	31	17	3	0	4	0	7	11	2	1.3	7	2.3	20	14.7	47.4%	31.3%
8月	28	14	3	0	1	0	4	12	1	0.7	1	0.3	14	13	46.4%	27.5%
9月	30	23	4	2	5	0	11	10	8	5.3	9	3	27	18.3	61%	36.7%
10月	31	20	5	1	6	0	12	10	4	2.7	11	3.7	25	16.3	52.6%	29%
11月	29	20	1	1	7	0	9	2	8	5.3	16	5.3	26	12.7	43.8%	35.5%
12月	26	14	1	3	5	0	9	1	9	6.0	7	2.3	17	9.3	35.8%	11.5%
1月	26	7	1	1	1	0	3	3	3	2.0	1	0.3	7	5.3	20.4%	60.4%
2月	25	18	2	1	4	0	7	5	3	2.0	17	5.7	25	12.7	50.8%	42.8%
3月	28	12	1	1	2	0	4	5	4	2.7	5	1.7	14	9.3	33.2%	39.3%
計	345	183	25	11	47	1	84	74	47	31.3	97	32.3	218	137.6	39.9%	34.6%

平成28年度 会議室稼働率

H28	開館 日数	申請利用件数			開催日稼働率	前年
		大会議室			大会議室	稼働率
		全日	半日	合計	/	%
4月	20	1	2	3	15.0%	25.0%
5月	21	5	6	11	52.4%	57.1%
6月	21	7	7	14	66.7%	66.7%
7月	21	6	7	13	61.9%	57.1%
8月	23	3	4	7	30.4%	47.8%
9月	19	9	6	15	78.9%	68.4%
10月	22	8	3	11	50.0%	77.3%
11月	21	7	4	11	52.4%	38.1%
12月	19	4	7	11	57.9%	63.2%
1月	19	3	3	6	31.6%	57.9%
2月	19	8	4	12	63.2%	73.7%
3月	20	4	5	9	45.0%	35.0%
計	245	65	58	123	50.2%	55.5%

平成28年度 主催者別利用状況

番号	主催者名	県内外	利用内容	利用件数	区分
1	(株)山梨放送	県内	インポートカーフェア2016in山梨	1	展示会
2	(株)山梨放送	県内	フェラリー展示会	1	展示会
3	(株)山梨日日新聞社	県内	グルメサーカス	1	有料
4	(株)マツムラ酒販	県内	外食ナビ2016	1	展示会
5	(株)ハウジング建都	県内	感謝祭(もちつき大会)	1	その他
6	パナソニックファクトリーソリューションズ(株)	県内	甲府地区大忘年会	1	その他
7	(株)七保	県内	グットリビングフェア2016	2	展示会
8	(株)テレビ山梨	県内	やまなしこどもの城フェスタ	1	展示会
9	(株)テレビ山梨	県内	オギノ楽しい食卓フェスタ	1	展示会
10	(株)テレビ山梨	県内	大学進学セミナー	1	展示会
11	(株)サンキョー	県内	中学・高校の進学説明会	1	その他
12	(株)UTY企画	県内	山梨トヨタ、レクサス甲府、フォルクスワーゲン甲府合同展示会	1	展示会
13	(株)甲信マツダ	県内	マツダ車の展示及び販売	2	展示会
14	(株)小泉中野	県内	住宅設備展示会	2	展示会
15	(株)アドブレーション社	県内	甲斐日産サングスフェア	1	展示会
16	(株)Honda Cars山梨	県内	ALL Hondaお客様感謝祭	1	展示会
17	(株)YSK e-com	県内	YSKソリューションフェア	1	展示会
18	ロボコンやまなし実行委員会	県内	ロボコンやまなし2016	1	団体等
19	ネットヨタ山梨(株)	県内	U-Car展示販売	1	展示会
20	(株)クスリのサンロード	県内	お客様感謝祭	1	展示会
21	トヨタカローラ山梨(株)	県内	オールトヨタ5社U-Craフェア	1	展示会
22	山梨信用金庫	県内	山梨しんきんビジネスマッチング	1	展示会
23	山梨県立博物館	県内	博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト	1	団体等
24	山梨県動物愛護指導センター	県内	平成28年度動物愛護デー	1	団体等
25	山梨県中学校技術家庭科研究会	県内	関東甲信越地区大会	1	団体等
26	山梨県水晶宝飾(協)	県内	第44回甲府ジュエリーフェア	1	展示会
27	山梨県自動車販売店協会	県内	新車ディーラー合同中古車フェア	1	展示会
28	山梨県自動車整備振興協会	県内	車ふれあい祭2016	1	展示会
29	フランスベッド(株)	県内	展示販売会	1	展示会
30	山梨青年工業会	県内	ものづくりフェスティバルin山梨	1	団体等
31	トヨタカローラ山梨(株)	県内	山梨県オールトヨタ新車フェスタ	1	展示会
32	武田食品(株)	県内	山梨フード&カ-セレクション2016	2	展示会
33	生活協同組合パルシステム山梨	県内	パルシステム山梨商品展示会	1	展示会
34	杉本電機産業(株)	県内	グリーンフェア2016	1	展示会
35	ジャンボフリーマーケット事務局	県内	フリーマーケット	2	その他
36	清水食器(株)	県内	業務用厨房機器展示会	1	展示会
37	清水工機(株)	県内	第40回清水工機(株)総合展示即売会	1	展示会
38	佐藤 誠	県内	フリーマーケット	3	有料
39	(株)日本旅行甲府	県内	日本旅行バスツアー	1	その他
40	国立大学法人山梨大学医学部	県内	平成28年度医学部客観的臨床能力試験	1	団体等
41	甲府市教育研究協議会	県内	教育研究集会	1	団体等
42	建設業労働災害防止協会山梨県支部	県内	第1回建設まつり	1	展示会
43	活動分析研究会	県内	第27回活動分析研究大会	1	その他
44	甲斐クラフトフェア実行委員会	県内	第15回クラフトフェア	1	団体等
45	(株)ナリス化粧品	県内	ナリス化粧品メーカーアップフェスティバル	1	有料
46	(公財)やまなし産業支援機構	県内	2016取引拡大大商談会	1	団体等
47	(公財)山梨県獣医師会	県内	平成28年度動物愛護デー(事前準備)	1	展示会
48	(公財)山梨県歯科医師会	県内	山梨県民歯科保健のつどい	1	展示会
49	(公財)山梨県下水道公社	県内	下水道排水設備工事責任技術者登録更新講習会	1	その他
50	(一社)山梨県機械電子工業会	県内	山梨テクノICTメッセ2016	1	展示会
51	(株)関東甲信クボタ中部営業所	県外	農機具の展示会	1	展示会
52	撮影	県外	CM	1	その他
53	撮影	県外	CM	1	その他
54	撮影	県外	PV	1	その他
55	撮影	県外	CM	1	その他
56	(株)プランニングオフィス	県外	医療機器展示会	1	展示会
57	(株)ドラゴンゲート	県外	DRAGON GATEプロレス山梨大会	1	有料
58	撮影	県外	CM	1	その他
59	撮影	県外	PV	3	その他
60	撮影	県外	ドラマ	1	その他
61	(株)ディー・オー・ディー	県外	スキー、スノーボード用品の販売	1	展示会
62	撮影	県外	PV	1	その他
63	撮影	県外	CM	2	その他
64	撮影	県外	PV	2	その他
65	撮影	県外	CM	1	その他
66	撮影	県外	PV	2	その他
67	撮影	県外	CM	2	その他
68	極東産機(株)	県外	豊・ふすま総合展示会	1	展示会
69	ニューアロー東京	県外	甲府決戦(ダーツ大会)	1	その他
70	大相撲富士山山梨場所実行委員会	県外	大相撲富士山山梨場所	1	有料
71	NPO法人オプシヨナランド国際交流協会	県外	EXCITING2016アイメッセ山梨	1	有料
			合 計	84	

近隣県の同様施設の設置状況

	都県	名称	部屋別	部屋数	収容人数(約)	内訳(人)	面積(m ²)	備考
1	栃木県	マロニエプラザ	ホール	3	3,230	大:3,000弱 小:150 展示:80	大:2,665 小:336 展示:200	全国展示場連絡協議会 第2ブロック
			会議室	3	78	大:48 小:18 特別:12	大:105 小:36 特別:42	
2	千葉県	幕張メッセ	ホール	11	算出していない	展示:算出していない イベント:9,000	展示:72,000(6,750×8,9,000、4,500×2) イベント:	全国展示場連絡協議会 第2ブロック
			会議室	16	4,510	16室合計		
3	新潟県	朱鷺メッセ	ホール	2	11,000	展示:10,000 メイン:1,000	展示:7,800 メイン:1,133	全国展示場連絡協議会 第2ブロック
			会議室	12	1,558	国際:548 中:690(230×3) 小:320(40×8)	国際:649 中:約300×3 小:約65×8	
		ハイブ長岡	ホール	1	4,000		3,481	全国展示場連絡協議会 第2ブロック
			会議室	8	1,074	特別:600 2階:60×5、24 サロン:150	特別:600 2階:64×5、36 サロン:190	
4	東京都	大田区産業プラザ	ホール	3	2,300	大:1,500 小:400 コンベンション:400	大:1,600 小:400 コンベンション:480	全国展示場連絡協議会 第2ブロック
			会議室	9	446	特別:80 A~G:316(7室合計) 和室:54	特別:208 A~G:546(7室合計) 和室:54	
		都立産業貿易センター台東館	ホール	4	2,400	2,400(600×4)	5,836(1,495、1,479×2、1,383)	全国展示場連絡協議会 第2ブロック
			会議室	2	70	70(35×2)	134(67×2)	
		東京ビッグサイト	ホール	13	算出していない	算出していない	東:66,140(1,120~11,680の8ホール+スペース) 西:31,280(2,000~8,880の4ホール+スペース)	全国展示場連絡協議会 第2ブロック
			会議室	24	3,800	国際会議場:1,000 レセプション:1,100 1、6~8階:1,700(22室合計)	国際会議場:1,030 レセプション:1,700 1、6~8:35~190	
5	山梨県	アイメッセ山梨	ホール	1	5,000		4,860	全国展示場連絡協議会 第2ブロック
			会議室	1	150		212	

< 参考 >

1	静岡県	ツインメッセ静岡(静岡産業支援センター)	ホール	6	14,100	南大:6,500 北大:6,000 小1:160 小2:600 小3:400 レセプション:450	南大:5,400 北大:5,000 小1:150 小2:600 小3:370 レセプション:380	全国展示場連絡協議会 第3ブロック
			会議室	12	446	会議室:300(30×10)、60、69 和室:16		
2	神奈川県	神奈川県産業振興センター	ホール	1	220		372	全国展示場連絡協議会 第3ブロック
			会議室	5	214	特別A:24、B:22 1~3:168(3室合計)	特別A:63、B:58 1~3:84~93	

(単位：円)

科・目	一般会計	中小企業 支援基金 特別会計	中小・小規模企 業 特別会計	中小・小規模企 業 特別会計	債務保証事業 特別会計	山形県 77小 事業 特別会計	一般計
資産合計	714,253,451	134,883,728	1,398,362,149	148,418,764	1,531,822,138		
負債の部							
1 流動負債							
割賦販売設備未払金							
リース契約設備未払金							
未払費用	7,002,818	12,071,342	6,118,087	(0)	(0)	23,577,975	(0)
水道光熱費	372,728	(50,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
その他の金	54,000	50,000	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
社会保険料							
雇用保険料							
その他の金							
前受引当金							
流動負債合計	7,429,546	15,255,044	6,118,087	0	0	23,577,975	
2 固定負債							
借入金							
山形中央銀行借入金							
甲府信用金庫借入金							
山形県信用組合借入金							
その他借入金	215,000,000	55,000,000					
割賦設備保証金							
退職給付引当金	26,918,251	64,423,684					
共済年金引当金							
固定負債合計	241,918,251	119,423,684	0	0	0	1,500,000,000	0
負債合計	249,347,797	134,883,728	6,118,087	0	0	1,523,577,975	
正味財産の部							
1 指定正味財産							
出捐金	434,170,000	0	1,323,000,000	118,000,000	118,000,000	0	0
指定正味財産合計	434,170,000	0	1,323,000,000	118,000,000	118,000,000	0	0
(1) 基本財産(の増減)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(2) 特種財産(の増減)	(0)	(0)	(1,323,000,000)	(118,000,000)	(118,000,000)	(0)	(0)
2 一般正味財産	27,507,814	0	39,244,062	30,418,764	30,418,764	10,962,004	(0)
(1) 基本財産(の増減)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(2) 特種財産(の増減)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	461,677,814	0	1,362,244,062	148,418,764	148,418,764	10,962,004	0
負債及び正味財産合計	711,025,611	134,883,728	1,363,362,149	148,418,764	148,418,764	1,534,539,979	

10. 会計別正味

財産増減計算書

科目	一般会計	中小企業 支援基金 事業特別会計	中小・小規模企 業支援基金事 業特別会計	債務保証事業 特別会計	山梨県 ファンド事業 特別会計	配当収入 支援事業 特別会計	貸与事業 特別会計	小規模企業者等 設備貸与事業 特別会計	産業展示 交流促進事業 特別会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部											
1 經常増減の部											
(1) 經常収益	2,562,035	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,562,035
基本財産運用益	2,562,035										2,562,035
基本財産受取利息	0		10,179,194	23,009	23,326,123						33,508,326
特定資産運用益	0		10,179,194	23,009	23,326,123						33,508,326
特定資産受取利息	3,760,848	7,278,849	0	0	0						11,039,697
事業収益	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)						(0)
割賦販売収益											
割賦設備収益											
割賦損料											
リース料											
リース設備売却益											
規定損害金	4,060										4,060
手数料収益	3,756,798	7,278,849									11,035,647
受取負担金											
使用料収益											
商品販売収益											
受取補助金等	313,076,973	101,545,406	0	0	0						414,622,379
受取補助金	52,963,832	101,545,406									154,509,238
委託託	260,112,141										260,112,141
雑収益	2,127,244	62,357	0	0	3,154,482						5,346,783
雑収益	37,244	62,357									99,601
有価証券利息											
雑収益	2,090,000				3,154,482						5,244,482
その他収益	0	0	0	0	0						0
貸倒引当金取崩額											
經常収益計	321,526,100	108,866,612	10,179,194	23,009	26,480,605						489,075,620
(2) 經常費用											
事業費用	318,896,455	108,827,081	11,757,760	0	27,722,534						467,403,830
割賦販売原価											
リース原価											
役員報酬											
人件費	(18,087,520)	(63,255,236)	(0)	(0)	(0)						(81,342,756)
給与手当	9,179,557	46,742,337									55,921,894
退職給付費用											
福利厚生費	8,907,963	7,900,996									16,808,959
退職給付当金繰入											
貸与引当金繰入	69,167,559										69,167,559
賞金	129,246,301	27,736,640	162,400	(0)	(0)						157,145,341
減価償却費	(216,368)	(0)		(0)	(0)						(216,368)
什器備品減価償却費											
車輦運送機材減価償却費											
ソフトウェア償却費	259,840										259,840

(単位:円)

(単位：円)

科目	一般会計	中小企業 支援基金準備 事業特別会計	中小・小規模企 業復興基金事 業特別会計	債務保証事業 特別会計	山梨 महिला ファンド事業 特別会計	設備購入 支事業 特別会計	県財政整備 貸与事業 特別会計	小規模企業等 設備貸与事業 特別会計	商業展示 交遊館事業 特別会計	内部取引消去	合 計
旅費	10,666,957	1,819,446	2,415,150	(0)	44,048	143,900	8,420	215,900	215,900	(0)	15,314,831
保険料	(535,820)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1,131,784)	(2,869,503)	(1,453,850)	(358,780)	(0)	(6,348,797)
リース損害保険料							679,330	1,453,850			2,133,180
信用保証料							2,077,813				3,056,197
その他保険料	535,820					972,584	112,520	358,780			1,166,420
公租公課	(6,411,718)	(10,200)	(0)	(0)	(0)	(54,454,195)	(8,302,175)	(2,091,000)	(6,145,509)	(△ 48,217,204)	(27,287,957)
リース期間延長返還						16,457,770	8,151,775	1,731,000			26,340,545
法人税等	21,000					37,596,389	210,400	350,000	50,000	△ 48,217,204	71,000
その他の公租公課	5,390,718	10,200				75,000		5,095,909			846,412
社会活動費	20,000										95,000
事務費	(18,349,491)	(4,547,114)	(447,155)	(0)	(21,558)	(2,182,393)	(1,043,766)	(472,459)	(8,049,990)	(0)	(35,114,271)
消耗品費	3,812,011	269,473	258,097			282,754	128,819	87,706	2,721,558		7,532,418
燃料費	288,217	185,613				85,640	66,406	55,030	45,495		726,901
印刷製本費	7,661,526	1,299,255	33,480			124,200	186,300	156,865	579,124		10,041,140
通信運搬費	1,974,901	2,754,357	71,740		11,058	901,514	220,435	837,298		(0)	6,771,313
会議費	545,372	47,406	73,838		10,900	300	23,000				701,416
会費	3,785,400		10,000				189,000		2,519,424		6,503,824
広告宣伝費	286,112					70,396	26,356		1,268,419		1,571,283
修繕費	15,552					737,532	201,852	172,568	138,672		1,285,976
支払手数料	(259,904)	(97,522)	(0)	(0)	(0)	(428,493)	(0)	(37,554)	(28,984,438)	(0)	(27,807,924)
水道光熱費	245,815	97,532				332,005		37,554	18,703,467		19,416,434
電気	14,088					95,431			1,928,043		2,038,562
ガス									6,352,928		6,352,928
備品費	350,082					1,052,386	914,157	790,696	2,073,322	△ 1,098,977	350,082
使用料及び賃借料	20,854,583	2,976,669	495,944		1,079,290						28,139,059
助成金	38,855,795	5,051,146	7,711,745		26,480,848						78,109,535
貸付金	498,200	94,000	107,000			1,016,235	376,000		897,235		2,988,672
委託金	4,777,627	3,235,151	427,356			117,000			23,682,287		32,240,431
支払利息	28,050	2,525				5,062,547	2,016,581	2,574,939		△ 30,886	9,654,117
貸倒引当金繰入額						354,780,135	417,881,327	73,942,598	57,188		846,661,649
納付金									12,294,400		12,294,400
商品仕入									5,475,128		5,475,128
雑管理費	1,571,459										1,571,459
雑費	3,270,026										3,270,026
人件費	(142,765)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(142,765)
給与金	142,765										142,765
賃借料	276,202										276,202
公租公課	(800)										(800)
その他の公租公課	800										800
社会活動費	145,500										145,500
事務費	(292,133)										(292,133)
消耗品費	12,598										12,598
印刷製本費	48,600										48,600
通信運搬費	34,100										34,100
会議費	182,510										182,510
支払手数料	14,340										14,340

(単位：円)

科 目	一般会計	中小企業 支援基金 事業特別会計	中小・小規模企 業振興基金事 業特別会計	債務保証事業 特別会計	山形みらい ファンド事業 特別会計	支障進入 支援事業 特別会計	東海建設 貸与事業 特別会計	小規模企業等 設備貸与事業 特別会計	産業展示 交流事業 特別会計	内部取引消去	合 計
使用料及び賃借料	17,820										17,820
負担金	65,000										65,000
委託費用計	2,329,800										2,329,800
経常費用計	322,166,481	108,827,081	11,757,760	0	27,722,534						2,957,598,115
当期経常増減額	△ 640,381	59,531	△ 1,578,566	23,009	△ 1,241,929					0	107,086,297
2 経常外増減の部											
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0						0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0						0
経常外費用計	0	0	0	0	0						0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0						0
他会計振替額	59,531	△ 59,531									0
当期一般正味財産増減額	△ 580,850	0	△ 1,578,566	23,009	△ 1,241,929						107,086,297
前期一般正味財産増減額	28,088,664	0	40,822,628	30,395,755	12,208,933						500,180,555
一般正味財産増減高	27,507,814	0	39,244,062	30,418,764	10,967,004						607,266,853
一般正味財産増減の部	(1,218,000)	(0)	(0)	(0)	(0)						(1,218,000)
基本財産運用利益	(0)	(0)	(9,997,152)	(0)	(0)						(9,997,152)
特定資産運用利益	(△ 1,218,000)	(0)	(△ 9,997,152)	(0)	(0)						(△ 11,215,152)
一般正味財産への振替額	△ 1,218,000	0	△ 9,997,152	0	0						△ 11,215,152
一般正味財産への取替額	0	0	0	0	0						0
当期指定正味財産増減額	494,170,000	0	1,322,000,000	118,000,000	0						1,875,170,000
指定正味財産増減の部	494,170,000	0	1,322,000,000	118,000,000	0						1,875,170,000
指定正味財産増減高	461,677,814	0	1,362,244,062	149,418,764	10,967,004						2,482,436,853